

そよ風に揺れる木々の葉が春の陽ざしに照らされて、まぶしいほどにきらきらと輝いています。

先日、所庭にこいのぼりを掲揚しました。「こいのぼり大きいね～！」「泳いでる～！」と、元気よく泳ぐこいのぼりをとても興味津々に見ていましたよ。毎日こいのぼりを眺めながら所庭に出て、好きな遊びを見つけて楽しんでいます。小さいクラスの子どもたちも保育士に親しみをもち、笑顔で過ごせるようになりました。

これから、ますます外遊びが気持ちよく感じられる季節です。春の自然に触れたり身体を動かして遊んだりしながら、「保育所って楽しいな」と感じられるようにしていきたいと思えます。

5月の連休に入りますが、家で過ごす時間が長くなると、つい夜更かしをしたり、朝も起きる時間が遅くなったりして生活リズムが乱れ、体調を崩しやすくなります。生活リズムが一旦崩れると、規則正しい生活を取り戻すのに時間がかかります。疲れ過ぎないように体を休めたり、『早寝・早起き・朝ごはん』を心がけたりし、生活リズムを整えて元気に過ごせるようにしましょう。また、事故やケガのないよう十分気をつけて、ご家族でゆっくりとお過ごしください。



5月の行事予定

- 3日(月) 憲法記念日【祝日：休所】
- 4日(火) みどりの日【祝日：休所】
- 5日(水) こどもの日【祝日：休所】
- 6日(木) 巡回相談日(山田心理相談員来所)
- 7日(金) おあつまり会
- 10日(月)～14日(金) 身体測定週
- 11日(火) あいさつ運動
- 18日(火) 避難訓練
- 19日(水) 5歳児交流保育(北部保育所5歳児来所)
- 20日(木) 誕生会 集金日
- “ ふれあいデー打ち合わせ会 15:30～
- 22日(土) ◆親子遠足(りす組以上の親子)
- 27日(木) わくわくデー(さつま芋苗植え:3・4・5歳児、
“ みなみ保育所5歳児参加:天神花公園園)
- 28日(金) さつま芋苗植え予備日
- “ 布団持ち帰り



6月の主な予定

- 3日(木) ふれあいデー(節句会)

◆のついている行事につきましては、後日おたよりで詳しくお知らせします。



あそびの様子



きりん組
筍の皮はぎ



うさぎ組
お花でごちそう作り



ぱんだ組
登り棒に挑戦



ひよこ組
ひなたぼっこ



ことり組
おさんぼ(親水公園)



りす組
鉄棒にぶら下がり



4月26日 こいのぼり掲揚式の様子

職員出張関係のお知らせ ▽は午前・△は午後の研修

12～14日 保育士等キャリアアップ研修【マネジメント】～長廻

19日△出雲市保育協議会総会～黒目、渡部

30日 令和3年度発達障がい基礎講座～絵里

保育目標～〇春の自然にふれてあそぼう。

天気の良い日には保育所周辺や近くの公園へ散歩に出掛けて、春の植物や生き物を見つけることを楽しみます。大きいクラスでは、草花や虫を図鑑で調べたり、草花を使って色水作りやままごとを楽しんだりします。小さいクラスでは、5月のそよ風を感じたり流れる雲を眺めたりして、身近な自然に触れて楽しみます。

〇戸外で体を動かしてあそぼう。

大きいクラスは所庭に出て、鬼ごっこをしたり鉄棒やうんていなどを使って全身を動かして思う存分遊んだりすることを楽しみます。小さいクラスは裸足で所庭を歩いたり築山を登ったりして、外で遊ぶ楽しさや心地よさが感じられるようにします。

生活目標～〇あいさつや返事をしよう。

生活の中で、「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんさい」などの様々なあいさつをかわす場面や、誰かに名前を呼ばれたり、話しかけられたりする場面がありますね。そのような時に黙っていると、相手は「聞こえなかったかな?」「伝わったかな?」などと思ってしまうものです。まずは私たち大人がお手本となり、子どもたちが自信をもって声を出し、気持ちのよいあいさつや返事ができるようにしていきます。

★令和3年度保護者会役員さんをご紹介します。

- 会長：山崎 様(きりん組)
- 副会長：原 様(きりん組)
- 監事：岡 様(ぱんだ組) ・ 佐藤 様(りす組)
- 委員：村田 様(ぱんだ組) ・ 鄙山 様(うさぎ組)
- “ :三島 様(うさぎ組) ・ 柁 様(りす組)
- “ :来海 様(ことり組) ・ 南場 様(ひよこ組)

〇出雲市認可保育所保護者会連合会役員

- 理事：山崎 様(きりん組)
- 評議員：原 様(きりん組)
- “ :佐藤 様(りす組)
- “ :来海 様(ことり組)

1年間どうぞよろしくお願いたします。



☆子育てのヒント

保護者向け貸し出し
絵本にあります。

～あいさつの大切さ～

毎朝、りす組の子どもたちは登所後に事務室に来て、「おはよう」とかわいらしい表情であいさつをしています。その他のクラスでも、担任と子どもたちが朝のあいさつをし、一日をスタートしています。

教育評論家の尾木さんは著書の中で、“あいさつの大切さ”について次のように述べておられます。

大切なのは声の大小ではなくて、相手の心に届くようなあいさつができるかどうか。つまり、相手の思う“心情”になっているかどうかなのよ。

朝、起きたら家族で「おはよう」。

昼下がりに、近所の人に会ったら「こんにちは」。

夕方、マンションのエレベーターで乗り合わせた人に

「こんばんは」。

当たり前だけれど、その心と心が触れ合うコミュニケーションが、子どもたちのイキイキとした生活力や自立性につながっていくパワーになるのよ。

一部抜粋:尾木ママの「叱らない子育て論」著:尾木直樹

朝の忙しい時は、ついついあいさつが適当になりがちですが、「おはよう」と言葉を交わすことで、大人も子どもも気持ちのよい一日の始まりを迎えられるのではないのでしょうか。

毎月月初めには、地域の方が玄関前に立ち挨拶をしてくださっています。今月は、保育目標にも“あいさつ”を掲げています。子どもたちも、地域の方をはじめ誰にでも、顔を見てあいさつできるとよいですね。私たち大人がお手本となり、さわやかなあいさつをしましょう。